

【意見①】 まちについて

NO	意見
1	京丹波町の宝さがし
2	地域の魅力発信
3	住みよいまちづくり 豊かな自然や文化を大切にして、いくつになっても安心して住み続けられ、 元気が見えるまち
4	瑞穂町の昔話（昔の街並みやお店、生活など）
5	地域の中での役割分担が必要であるが出番がないと参加しにくいのが現状です。 高齢の方が多く地域が連携して取り組みをすることが大切です。
6	町の次代を担う子どもたちメインの座談会 子ども目線から町の現状や希望を語ってもらうのはどうか。大人とは違う価値観、 視点の意見がないか →若い世代の都市部への流出の要因？ 働く場がないことは事実であるが、もしか すると「それでも町に残りたい」と思える何かは隠れていないだろうか？

考え方



ご意見ありがとうございます。

別添、中学生高校生にも意見を求めた中で、子どもたちは町のこれからを真剣に考えていることも分かりました。

お寄せいただいたご意見、ご提案を参考にまち（京丹波町）についての「かたろうな」を検討していきます。

【意見②】 防災・災害について

NO	意見
7	季節シーズンごとにできる防災対策
8	年々、災害の規模が大きくなって“まさかうちが”という話をよく聞くようになり、しっかり備えをするにはどうするか、また避難場所が大まかでもう少し 少人数単位でできないか、など
9	災害時に住民・消防団・役場職員など各立場ごとにどう行動するのか。
10	まずは「防災」のこと！！ “逃げ遅れ”の前に本当に避難をするのはここで良い のか？ → 現実、私はどこに避難すべきか迷っています。声かけ合いの避難も大 事ですが本当に安全な場所はどこなのか？
11	災害時の避難場所が区会所になっていますが、そこまで移動するのが困難な現状で す。もう少し安全確保の方法等取り組みが必要であるし、今後の課題と考えます。
12	防災について取り組みたい 役割分担 ・消防団→救助 ・女性団体→心のケア（避難時に）
13	防災活動について、幸いにして現在は大きな災害はなかった。しかし一昨年は和知 にて大きな被害が発生したことをきっかけにして行政も動きつつあるので、各地区 に於いても防災に力を入れていくべき

14	「防災について」隣近所で本人の状態を把握できるような仕組みづくりや避難する時の対応の検討が必要
----	---

考え方



災害による甚大な被害が多発している今、災害に対する備えについて考えることはとても大切なことです。自分で備えること、地域で取り組めることなど、防災・減災に向けての取り組みについてみんなで語り合しましょう。

【意見③】交通について

NO	意見
15	交通（足）について。
16	高齢者の免許返納の問題は本当に切実な問題です。交通機関が少ない為、行動の制限がある為、思うように出かけられなくなります。地域だけではなく町全体で高齢者も気軽に乗り降り出来るように考えてほしい。地域でしようと思っても運転とかしてくれる若い人が少ない
17	今後高齢が進む中、買い物に行く足を考えさせられます。サロンでお買い物ツアーをしておりましたが5人以上となるとなかなか人が集まりにくく、時間を決めて運行できるようなことは考えてもらえたらと思います
18	グリーンハイツに居住しています。交通の事が大変重要な所です。車がなければお昼2回の町営バスにたよっていかねばなりません。お年の人が多くおられます。バイパス（27号線）も走るバスがあれば助かるのでは・・・と思います
19	高齢者の免許返納を言われるが、返納後の交通手段について、安心できる制度について考えたい
20	一度京都市に嫁ぎまして子育ても終わりやはりこの年になりこちらに帰ってきました。住みやすくやさしい町ですが、一番困るのは交通機関です。バスもガラガラに空いています。それでも年により乗れなくなる人も多くなると思いますので、バイパス27号線も通るようになるとよいと思います
21	高齢者が増加してきており免許証も返納されていく中、もっともっと足となる交通網を考えていくことが大事
22	高齢になると車の運転もできなくなり、今のところ障がいの子の通院等親がしておりますが先々とても不安に思っています
23	基本的には交通弱者が誰でも利用できるシステムづくりと支援する運転手の手当てが支払えるシステムづくりが必要
24	運転免許返納後の交通手段、買い物等不安である

考え方



運転免許を持たない方、また返納をお考えの方など、子どもから高齢者までの課題です。ぜひ、語り合いの場で公的な支援と私たち住民同士で出来る取り組みやシステムづくりについて一緒に考えましょう。

【意見④】 ふれあい・いきいきサロン活動について

NO	意見
25	サロン活動の取り組み
26	地域活性化や地域福祉活動の担い手をどのように育てていくのか。 いきいきサロンなど企画したことには参加、協力していただくが主体的に活動して くださる方があまりいない。60代前半の方でも他人事のような捉え方である
27	健康相談、認知症の予防、不眠相談、お食事会、茶話会、お楽しみ会、町内バスを 利用して買い物・町内めぐり、春はお花見、秋は近場の紅葉、他、1つのテーマと ゲームとか組み合わせも出来ればいいかと思えます

考え方

各地で取り組まれている「ふれあい・いきいきサロン活動」は、後継者の課題や、参加者の送迎のことなどの課題も多くあります。しかしながら、地域の中で顔を合わせ、近況を報告しあったり困りごとを共有したり、とても重要な集いの場です。持続可能な取り組み方や次世代にどうつないでいくか、みなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

【意見⑤】 高齢者支援について

NO	意見
28	一人暮らし対策
29	お年寄りの支援
30	高齢者の方には政治的（政策・施策）をいかに充実可能かを要望する方策案等を語り 合う事等で、夢を持てる話ができれば
31	高齢者が家に閉じこもりがちな現在、家を出ることへの呼びかけ

考え方

いつまでも元気で自分らしく暮らし続けるためには出番と役割が必要です。高齢になってから支えてもらうのではなく、時には支える側にもなれます。高齢化が進む本町においては、高齢者同士で支え合わなければなりません。益々深刻化する少子高齢化に向けてできることを一緒に考えていきましょう。

【意見⑥】 子育てについて

NO	意見
32	子育て中の方の不安解消の子育て教室の充実や、相談システムに加えて近所などで 交流できるような仕組みづくりが必要
33	地域社会の教育力の低下に対する基本的な行動。少子高齢化が進む現状で、地域社 会（隣近所）の教育力の低下が現実として現れてきている

## 考え方

子育て世代が孤立することなく安心して子どもを産み育てたいと思える環境づくりを地域社会全体で取り組むことが大切です。

### 【意見⑦】 その他

NO	意見
3 4	地域の中だけで語り合うのではなく、素晴らしい他町の取り組みを知って参考としたいです
3 5	講演会によって知識を得ることが大切です
3 6	空き家対策
3 7	田畑の空白地
3 8	移住者との関わり
3 9	最近の困りごと
4 0	テーマや内容は思いつきませんが、色々な年代の方たちとの話合い。意見交換する時はいつも同じ年代の方が集まって話すことが多い。お互いが「こういう考え方…」と思えることが刺激になっていくのではないかと思います。実際の声を知ったらお互いの考えにもできないかと
4 1	若者の定住できる環境（農業に対する）等を重点課題として語る事
4 2	福祉に対する思いや取組みをいかに実現に向かうかを語り合う
4 3	地域社会活動への積極的な参加の呼びかけが必要である
4 4	国の方でも日常生活圏としての「小さな拠点」組織の取り組みが推進されているようですが、その範囲（区のあり方含め）、買い物難民、通院難民の支援策、農作業の助け合い（農機具の共同化・農機具の転売情報含め）、配食サービス、等々のあり方について話し合ってみてはどうでしょうか？
4 5	テーマを決め語り合う場も必要であるが、逆にテーマを決めずに茶話会的な何でも自由に話す場があればと考えます。 誰もが置き去りにされない土壌づくりは、また耕しのための語らいの場づくりを期待します。日頃、地域を回り声を聞く地道な活動をされている京丹波町社協の職員の知恵を結集した場づくりを期待します



## 考え方

たくさんの貴重なご意見をありがとうございます。  
この町がより安心して暮らせる福祉のまちを目指し取り組みを進めていけるよう、ぜひ皆さまの参加とご協力をお願いします。  
お寄せいただいたご意見を参考にしてみなさんと一緒に「〇〇をかたろうな」を進めていきましょう。

【意見⑧】 好意的な意見について

NO	意見
4 6	時間をかけずにまずやってみることが大切
4 7	地域（区）においても話し合う時間を設ける必要があると思っています。
4 8	地域の子どもは京丹波町の宝ですが、その宝である子どもがどんどん減少している現状です。自分が高齢者となった今、将来的にも不安や心配が常にあります。若い人が住みやすく、宝である子どもがどんどん増える京丹波町になるため真剣に取り組む必要を感じています。引いては高齢者はもちろん全町民が安心して住める活気ある町になると思います。
4 9	出会う機会がなかったであろう人達の意見を吸い上げ、見える課題として取り上げて行ってほしいです。
5 0	地域のつながり、地域の助け合いには地域住民同士の交流が必要
5 1	話し合うことは大変重要なことと思います。小さな意見が実を結ぶことを願っています。
5 2	このように実現していけば良いと思います。
5 3	とてもよい活動が始まったと思いました。それぞれ個々が思うことが全て計画通りにはいかないでしょうが、みんなが人任せでなく自ら行動を起こせる町になれば一気にすてきな町になるだろうなと思います。誰かが誰かの足を引っ張るのではなく、みんなで前向きな解決案が出されていくといいなとも思っています。毎日楽しく過ごせるために・・・
5 4	語り合う場づくりを実現（複数回）することは有意義な事で、大事だと思っています。語り合うのみでなく、一步でも前進に向かい現実に向けて進めて行ける場に皆で進める計画を考え話し合う場を持ちたい。
5 5	難しいことは分かりませんが、これからますます人口減少社会・高齢化社会（特に2人世帯、単身世帯）がつづき、誰も経験したことの無い時代を迎える訳で、活動計画（案）のように、お互い力を合わせ頑張っていくことが大切だと思います。
5 6	話し合いの場を設けて、住民同士のつながりを強くする事は非常によい事だと思います。ただ、ワークショップ・ヒアリングに参加させて頂いて、人を集める事や数時間の話し合いで良い解決策や今後の活動計画につなげていく事の難しさを感じました。おそらく座談会においても、同様の難しさがあるのではないかと感じます。住民にとってより良い町にすること＝座談会ではないと思います。座談会をして終わりという事だけは避けて頂きたいと思います。

考え方



ご賛同いただきありがとうございます。

意見を集めただけで終わらないよう評価を繰り返しながら、地域のつながりや助け合いが広がり、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを住民の皆さまと一緒に進めていきたいと思っています。

【意見⑨】計画の具体性や具体的な修正提案等について

NO	意見
57	具体的な計画内容の記載はしないのか？ どれくらいの頻度で開催するのか、など。
58	ぱっと見た感じで「座談会をするのか・・・で？」といった感じでもったいない。既存の活動を記載し、連動させておく方が説得力が増すのではないか。それぞれの活動が抱える課題なども記載しても良いかもしれない。
59	より具体的な活動を目指した計画が必要「作っただけ」に終わらないように年に2度くらいはその成果のチェックが大切
60	福祉のみを考えるのではなく、「地域の課題」「生活の課題」をも計画にする必要があり、いろんな意見を聞くことから結果が見えてくるのでは・・・。
61	「みんなが参加できる土壌づくり」の方針について、共助の原点は声をかけ合うことであり、「みんなが声をかけ合える土壌づくり」とする方が良いのではないかと思います。
62	「参加できる」とすると強制され感があり「集える」としてはどうかと思います。
63	旧丹波町の丹波音頭のフレーズ気に入っています。サブタイトルに使われたらどうでしょうか。～人の心も明るく丸く和やかに～ より身近なものに感じられます。

回答

たくさんのご意見、ご提案ありがとうございます。  
お寄せいただいたこれらのご意見、ご提案を参考に計画（案）を修正しました。

【意見⑩】人口減少・後継者等について

NO	意見
64	ボランティア活動者の高齢化して若い方の会員が集まらない。
65	代表を務めたり世話役（地域）の役が限られた者ばかりで大変になってくる。
66	令和元年度は多くの計画をしました（サロン開催）。参加者様には喜ばれましたが、会員の人数が少ないので食事会、カフェなど大変になる。
67	若い人が移住していただいたらいいのにと 생각합니다。
68	若者が帰ってくる町
69	リタイアされた方の積極的な地域活動への参加。今後ますます高齢化は加速をしていく状況の中に於いて福祉は一層大事になっていく。何とか今の間にシステム化してでも対応しなければ厳しい現実を迎える。逆に対応する人間が不足する現状において未来はないと思う。
70	有効な人材活用。町外から入ってこられる人の能力を最大限活用して地域づくりに参加願えないかなあと思う。

考え方

行政や関係機関等と連携しながら移住者や関係人口を増やすことや地域の中での担い手（理解者・協力者）を増やす取り組みなど検討していきましょう。



【意見⑪】 障害者支援について

NO	意見
7 1	京丹波町では障害者の3作業所を社会福祉協議会の運営でお世話になりとても感謝しています。高齢化に伴い障害者の入れる施設も少なくグループホームもありません。住み慣れたこの地域で暮らせるように作業所の後の受け皿となるものを是非ともお願いしたく思っています。

考え方



行政とも連携しながら、京丹波町における障害者福祉について調査、検討していきたいと考えています。

【意見⑫】 その他

NO	意見
7 2	市森ふれあいサロン。80歳以上の女性が月1回のマーケットでの買い物(4~5名)、町内バス利用。今年グラウンドゴルフを始めてもらって週2回練習に参加(男女10名程度)。地域の活動の中で、声掛け出来たら参加者も増すのではないのでしょうか
7 3	「子どもが主体の活動」はできないだろうか?大人が用意したフォーマットに子どもがお客様としてフォーマット座って活動をするのではなく、目標設定、活動内容など。子どもが主体となって活動(=社会経験)する機会。予算運用なんかも。難しいと思うので中~高校生くらい。大人はあくまでサポート役 and 助言。最低限の枠から飛び出さないように法律的サポート、他組織との調整役。
7 4	忙しくされておりますがサロンがある時、顔出ししてもらえ、その中で話を聞かせてもらえたらと思います。
7 5	なかなか近所でもゆっくりと話をする場所、機会がない中、サロンは楽しみにしておられます事はとてもうれしく思います。
7 6	地域のつながり、地域の助け合いには、地域住民同士の交流が必要
7 7	若い人には子育てや保育、高齢者には介護予防や高齢福祉に関する事等、年代に応じた情報が必要。
7 8	神戸は震災で町が一から始まったのに、沢山の人がまた戻ってきている。元々の交通の便利などがあるから? それ以外でも他に何かあるのか?
7 9	長年続いている「ふれあいサロン」も最近では参加者が少なくなり、ここでひと声かけて男性の参加が得られたらうれしいなと思います。
8 0	自由にサロンに来て地域のみなさんとおしゃべりができる様にしたい。障がいのある人、閉じこもりがちな人、差別なく来てもらえるようにしたい。
8 1	サロン活動について、スタッフは大変だが地域の皆さんが集まって交流をする場所になっており今後も続けていきたい。
8 2	自分自身の住む地域課題の掘り起しと共に、その課題をどのように関係機関・専門機関に繋げると共に、必要な支援に繋げていく。共働できるかを考えていく必要がある(区長・民生委員)。現実には、個人情報云々により、日々共有できる情報が少

	ない（区長・民生児童委員等）
83	<p>前回のヒアリングに引き続き、好き勝手な意見ばかりで申し訳ありませんが、私の新たな希望としまして「ボランティアで運営されるカフェ」はどうでしょうか。様々な難しい点はあるかと思いますが、洛西に住んでいる私の祖母がこれと同様な事に参加しておりましたので、ご提案させていただきます。</p> <p><b>○住民の方にとってカフェを開催するメリット</b></p> <p>行きたい時に気軽に行ける、話がしたい時に話ができる、そのような場所があれば住民の方にとって、ささやかですが幸せな時間になると思います。京丹波町病院を受診されて、帰りのバスを待つ間に寄れるところがないという声も聞きます。また、カフェのスタッフとして、ボランティアで住民の方に参加して頂きますので、</p> <p>“周りとの繋がり” や “役割” ができる事も期待できます。</p> <p><b>○ボランティアで運営されるカフェとは</b></p> <p>祖母の話ですが、スタッフの方は住民の方が交代でスタッフとして参加されていたようで、カフェの場所は会所のような所だったようです。当然利益を求めるものではなく、数百円のコーヒーや紅茶などの飲み物やお菓子？が提供していたのではないのでしょうか。</p> <p><b>○社会福祉協議会のプロジェクトにする必要性</b></p> <p>“ボランティアで運営されるカフェ” には、活動方針として掲げられている「思いを語り合える場づくり」「人との結び目づくり」「みんなの出番づくり」の3点とも揃っていると思います。またそこで最近の困りごとやこれからの京丹波町がどういう風になったら良いかを直接聞いたり、アンケート用紙に記入して頂いたりすることができます。住民の方だけではカフェの場所や準備や告知、運営をするのは大変で、1からカフェをスタートさせるのは難しいかと思いますが、サポートが必要だと思います。</p> <p>有意義なプロジェクトになることを願っております。</p>

## 回答

たくさんのご意見・ご提案をありがとうございます。

住民の皆さまが主体的に参加したくなる仕組みづくりに向けて住民の皆さまと一緒に考え、取り組んでいきたいと思っております。

また、具体的な提案をいただきました住民運営のカフェは町内各地区で「ふれあい・いきいきサロン」などで実施されているところもあります。この取り組みがさらに広がるよう引き続き側面的サポートを行ってまいります。ありがとうございます。